

⑤Int.Cl.
B 60 t
B 60 k

⑥日本分類
80 E 03
80 D 02

日本国特許庁

⑪実用新案出願公告

昭46-33934

⑩実用新案公報

④公告 昭和46年(1971)11月24日

(全2頁)

1

2

⑤自動車用ペダル取付装置

①実 願 昭41-54608
②出 願 昭41(1966)6月9日
⑦考 案 者 出願人と同じ
⑧出 願 人 水野善一
名古屋市千種区猪高町大字猪子石
原字太田1361
代 理 人 弁理士 名嶋明郎

図面の簡単な説明

図面は本案の実施例を示す一部切欠正面図である。

考案の詳細な説明

従来普通に用いられているクラッチ、ブレーキ等の自動車用ペダルはその作動杆と一体に形成されて運転者席の前床部定位置に取付けられているものであつて、運転者は体格に応じてシートを前後させることによつてペダルと足の間隔を調整していたが、これによつては調整が満足にゆかないためにクラッチ或はブレーキ操作は確實容易に行い難く、特に一般に脚の短い肥満型の運転者においては足がペダルに充分に届く位置までシートを前進させると腹部がハンドル下縁を圧迫して運転が困難となる欠陥があつた。

本案は上記の欠陥を除く目的の下に完成された自動車用ペダル取付装置に係るものであつて、以下図示の実施例につき詳細に説明する。

図中1は基端を軸2に軸着された作動杆であつて該作動杆1先端にはペダル軸3を踏込方向において長短自在に調整固定できるように嵌挿させた軸受枠4を固着して該ペダル軸3先端にはペダル5が取付けられる。なお、6はペダル軸3を調整固定するために該ペダル軸3の一侧に適数个穿設

したねじ受穴であつて、軸受枠4の胴壁に螺挿される蝶ねじ7の先端部を該ねじ受穴6の適当な1個に受けさせることによつて固定されるものである。

5 このように構成されたものは蝶ねじ7を弛めて軸受枠4に嵌挿されているペダル軸3を踏込方向において摺動させ、適当位置のねじ受穴6に蝶ねじ7の先端を締付けて受けさせれば、ここにペダル5、ペダル軸3、軸受枠4、作動杆1は一体となり、ここに運転者の体格に応じた足の位置にペダル5は調整固定されるものである。しかも、このようにして調整固定した後のペダル軸3は軸受枠4の全長に亘つて嵌挿された状態となつているためがたつくことなく、常に適確にその機能を発揮できるものである。

従つて、本案によれば、従来座席のみでは充分に行えなかつた足とペダルとの間隔を体格に応じ適宜に調整することができるために運転時にクラッチ或はブレーキ操作は確實容易なものとなり、20 運転者は常に楽な姿勢で疲労も少なく、安全運転を行うことができるものであつて、実用的効果極めて大なるものである。

実用新案登録請求の範囲

作動杆1の先端に固着した軸受枠4にペダル525 のペダル軸3を踏込方向に嵌挿し、軸受枠4の胴壁に螺挿した蝶ねじ7の先端部をペダル軸3の一侧に適数个穿設したねじ受穴6の1個に受けさせて調整固定できるようにした自動車用ペダル取付装置。

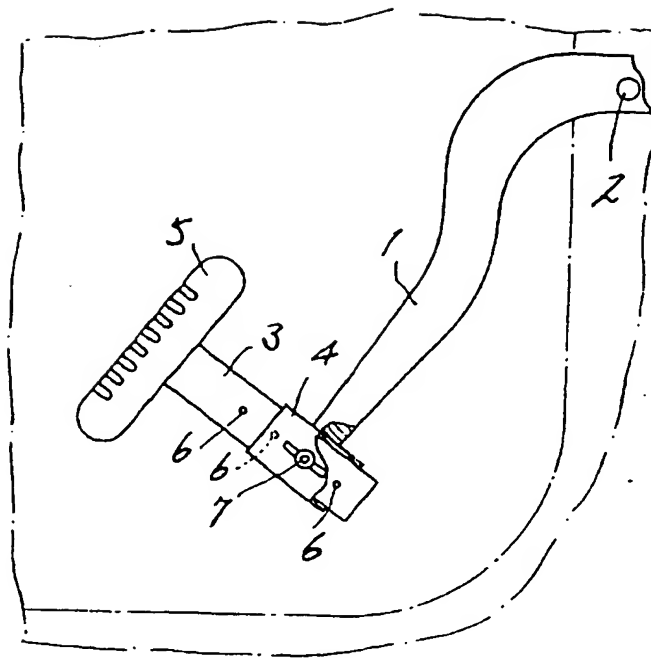
30

引用文献

実 公 昭12-6599

BEST AVAILABLE COPY

KSR 003040



BEST AVAILABLE COPY

KSR 003041